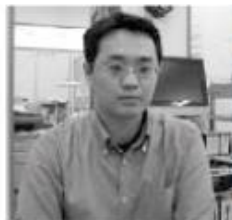


# みよしきらっと☆インタビュー

## 「"自分らしく生きる"をサポート」



### デイサービス はなまる

(特定非営利活動法人)

- 根岸哲哉さん
- 生活相談員  
(勤続年数：3年)

- A1.** 福祉系の大学で社会福祉士の資格を取得しました。福祉の現場経験がある教授がとても尊敬できる方でしたので福祉の方に進もうと思いました。
- A2.** 利用者の笑顔が何より嬉しいです。こちらが行った事に対して満足され、感謝していただけた時ですね。
- A3.** やるべきだと思う仕事(ああしてあげたい、こうしてあげたいなど)は、かくさんあるのですが、なかなか手が回らないことが歯がゆいです。
- A4.** 介護職員12名のうち男性は2名、ほとんどが女性ですが、福祉の仕事が女性の仕事というイメージは全くありません。介護には力も必要です。女性男性それぞれの持ち場で仕事が成り立つと思います。また、仕事だからやる、ではなく、自分の気持ちで動きたいと思える人がこの仕事に向いているのではと感じます。また、地域のボランティアさんとともに利用者が楽しく過ごせる企画を増やしていきたいです。

### 【インタビューを終えてひとこと】

入所者と一緒に、さまざまに工夫されたスケジュールをこなした後、事務的な仕事もされると聞き、体力と誇りがあってこそ出来る、大変なお仕事だと実感しました。(松本)



人生をまっとうするうえで、少なからず介護する、介護される立場になるでしょう。三芳町には福祉に関する施設がたくさんあり、その多くでいろいろなボランティアを受け入れています。介護の重要性を再認識するためにも現場を訪れてみませんか？



### かしの木 ケアセンター

(障害者支援施設)

- 斉藤輝二さん
- 総務部長補佐  
(勤続年数：6年)

- A1.** 手に職をつけよう、人の役に立つ仕事がしたいと思ったとき目があったのが福祉の分野でした。
- A2.** できないと思われていたことが、出来たことです。たとえば、食事がひとりでは取れない方の、肘の高さを固定したところ腕が上がって自力で食べていただけました。ほんの少しの工夫(提案)で出来るようになったことは、とても嬉しいですね。
- A3.** 不規則な勤務なので体調維持が大変です。職員の平均年齢が若い分、自分たちの親に近い年代の入所者とのコミュニケーションをとるのが難しいと感じます。お世話する側・される側の心の交流には時間がかかるケースもありますが、人それぞれ表現方法が違うことを理解することで壁は解消されると思います。
- A4.** 一人でも多くの利用者さんが、地域の中で暮らせる状況を作っていくことが目標です。一人ひとり出来ることを見つけて伸ばすことができれば職員にとっても、うれしいことです。給料面で言えば、おそらく安いでしょう。でも、職員の仕事に対する使命感や意識が高いこと、また、結婚した職員もほとんどが復帰していますので離職率は低くなっています。

### 【インタビューを終えてひとこと】

人の役に立つ仕事がしたいという気持ちが伝わってきました。入所者の方も、この人柄を肌で感じるものがあると思います。とても感動しました。(佐々木・田中)

介護する側も、される側も、快適な環境で・・・私たち一人ひとりの願いです。女性が担うことが多い介護ですが、今回無作為に抽出した町内の福祉施設に勤務する男性の介護職員にお話を伺いました。厳しい労働条件が問題となっている中、その人らしさを大切にしながら温かな介護を実践している皆さんの声です。

- Q1.**.....この仕事を選んだ理由.....
- Q2.**.....仕事をしていて嬉しいこと、楽しいこと.....
- Q3.**.....仕事をしていて苦労していること、大変なこと.....
- Q4.**.....希望・メッセージ.....

三芳町の福祉施設 15  
高齢者施設 10  
障がい者施設 5



### 埼玉ロイヤル ケアセンター

(介護老人保健施設)

- 宮内賢司さん
- 介護長  
(勤続年数：12年)

- A1.** 障がい者施設の手伝いをしたことがきっかけです。子どもも大人も素直に自分を出し、はっきりとした意思表示がありとても気持ち良く、お互い正直に向き合える職場と感じ福祉の仕事に就こうと思いました。
- A2.** 単調な毎日にならないよう、生活に工夫を凝らす努力をしています。具体的にはボランティアさんを含め、外出活動などを積極的に取り入れています。このような活動が、利用者には喜ばれたときや感謝されたときは嬉しいですね。
- A3.** 利用者の立場に立ってサービスを心がけていますが、時にそれが求めているものと違ってしまいうこともあります。苦情はあって当たり前だと考えていますし、これらを改善することで私たちの質の向上につながっていると思います。
- A4.** 介護職に就く人を増やす事と、資格ありきと言う部分が少なからずあるのでスキルアップを図っていきたいと思います。介護に興味を持たれたら、ボランティアを始めてみてはいかがですか？どの施設でも募集しています。日頃の生活からは得られない発見がありますよ。待遇面の改善は、施設として取り組むと良いと思っています。

### 【インタビューを終えてひとこと】

利用者の事を常に考え、常に向上心を忘れない宮内さん。物腰も柔らかく包み込むような優しさが印象的でした。(塩野・鈴木)



### みよし園

(介護老人福祉施設)

- 高野 徹さん
- 介護福祉士  
(勤続年数：13年)

- A1.** 景気に左右されない仕事だと思ったからです。
- A2.** 仕事として当たり前のことやっているのですが、「ありがとう」と言われた時は一番嬉しいです。生きた時代が違う人から、いろいろな情報を仕入れることができるということも何よりです。私が子どもの頃体験できなかった豆まきなどの年間行事も、入所者と共に体験できたことも新鮮でした。
- A3.** 十人十色、人の受け取り方によって反応がさまざまです。人相手ですのでマニュアルは作れないですね。一人ひとり価値観が違い、個別に把握しなくてはならないので難しいと感じます。
- A4.** 賃金の問題ですね。結婚しても共働きでないと生活が大変です。また、介護の重度化、核家族化により在宅介護は限界となっています。入所を待っていらっしゃる方も非常に多い中、施設は増えているのですが働く人が足りません。

### 【インタビューを終えてひとこと】

仕事に取り組む真面目な姿勢が好印象。入所者に対してもやさしく接している様子が感じられました。一人でも多く高野さんのような人が介護の仕事に携わって欲しい、そのために介護十人十色の人たちが安心して仕事ができる環境づくりを願うばかりです。(小島・静岡・浜砂)

